

<映画のかいせつ> 七十年以上前、日本で多くの国民が中国への侵略戦争とは知らずに、満州開拓団に入り入植していきました。開拓団が経験したような悲惨、残酷な事実を知らない。又、満州国という日本が作った、十四年近く中国北東部にあった幻の帝国に、中国人の人達の土地を日本軍部が鉄砲で脅し、火をつけたりして追い出し、そこに日本から何も知らない人達、満蒙開拓団として送り込んだのです。その人達が戦争に負けて、ロシア軍に散々な目にあう姿を戦争の悲惨さを通して、二度と戦争をしない国、日本になってほしくてこの映画を作ります。

<鑑賞のお願い>

日本の中国侵略戦争で多くの犠牲者を出した満蒙開拓団の悲劇を題材にした劇映画「望郷の鐘—満蒙開拓団の落日」は、山田火砂子監督、原作・脚本の和田登さん、主役を演ずる内藤剛志さんによる4月の記者会見後、11月14日東京での完成披露試写会めざし製作が急ピッチですすめられています。

現在82歳になる山田火砂子監督は、「若者には、いい加減な報道を見破る力を持ってほしいと思います。満蒙開拓団の話は、決して昔の事で終らす事の出来ない『いま』につながる話なのです。悲惨な戦争を体験した世代として私はただただ平和な日本でありたいと、この『望郷の鐘』を作ろうと決心しました。」と映画製作の想いを語っておられます。この大阪でも、監督の想いと心ひとつになって、若い世代をはじめ、戦争体験者・引き揚げ体験の世代もこの映画から歴史の真実を学び、改めて平和の大切さを考える機会になればと願っています。

石田法子（大阪弁護士会会長）

池長 潤（カトリック大司教）

渡辺 武（日中友好協会大阪府連会長）

完成披露有料試写会（製作協力券で入場できます。）

日時：2014年12月13日（土）

開場13時30分 開演14時

場所：クレオ大阪中央 ホール

* 地下鉄谷町線「四天王寺夕陽丘」下車

1・2番出口北東へ徒歩3分

前売券発売中

大人 1200円

当日券

大人 1500円

学生 1300円

（中学生以上）

障がい者 1000円

主催 劇映画「望郷の鐘—満蒙開拓団の落日」上映をすすめる大阪の会

（事務局：日中友好協会大阪府連 06-6372-8131・関西共同映画社 080-8341-1188）